

## 中学校 総合的な学習の時間 部会

部会長名 香春町立香春思永館 校長 安藤 志保美  
実践者名 赤村立赤中学校 教諭 藏原 麻厘

### 1 研究主題

「自ら課題を見つけ、情報を集め、改善方法を考える力を育む総合的な学習の時間」  
～自主学習の計画を通して～

### 2 主題設定の理由

#### (1) 社会の要請および今日的課題から

学習指導要領の総合的な学習の時間における目標は「主体的に目標をもって課題の解決に向けた探求活動に粘り強く取り組もうとする」である。また、現在、就学支援金の充実をはじめ国からの支援が豊かになり、ほとんどの中学生が自らの卒業後の進路として高校進学を選択することができるようになっている。しかし、高校生活で専門的に学びたいことを持たずに中途退学となる人や、退職や転職を繰り返す人が多いことが大きな課題である。そこで、中学校をはじめとする各教育機関は、在学期間中だけでなく卒業後を見据えたキャリア教育の充実を求められている。

これらのことから、本校の総合的な学習の時間では、3年時の内容項目に「進路を考える」が設定されており、「進路実現に向かって努力する生徒」を目指している。しかし、多くの生徒が高校に進学する中で、目標に向かって学習面で努力する機会が減ってきている。そこで、自分の進路について自ら課題を見つけ、情報を集め、その達成に向けて日々の学習を改善していく方法を考える力を育む活動が必要であると考え

#### (2) 生徒の実態から

本校の生徒の実態は、落ち着いて学習に臨み、苦手な教科の課題にもほとんどの生徒が自ら取り組むことができる。しかし、学習内容への興味・関心が低く、与えられた知識を活用して主体的に思考を深めたり、一つの課題に対して多角的な視点を用いて様々な解決方法を考えたりする姿はあまり見られない。自分の将来についても高校進学という全体的な風潮に流され、自分の意思が特にないまま進学をめざす生徒が多いと感じる。3年生1学期の学習や進路に関するアンケートでは、各教科からの課題はきちんと提出することができているが、それ以外の自主的な学習は全くと言っていいほど取り組めていないことがわかった。また、2学期のはじめに行ったキャリア教育アンケートでは「人間関係形成能力」と「情報活用能力」は比較的高いが、「設計遂行能力」や「意思決定能力」が低いという結果であった。このような課題意識が低く、進路実現に向けて自らの課題を見つけたり、改善方法を考えたりすることが十分でない課題の解決に向け、本主題を設定した。

### 3 主題の意味

#### (1)「自ら課題を見つけ、情報を集め、改善方法を考える」とは

自己の学習の進捗と実力テスト等の結果を振り返ることを通して、自らの進路実現における課題を見つけ、話し合い活動を通して苦手な教科の新しい学習方法についての情報を集め、自らの目標達成に向けて日々の学習の改善方法を考えることである。

#### (2)「自主学習の計画」とは

それぞれの生徒の苦手な教科について、得意な生徒から学習方法について助言する時間を設け、1か月間の自主学習の計画を立てて実行する取組のことである。

### 4 研究の目標

「自ら課題を見つけ、情報を集め、改善方法を考える力を育む」ために、総合的な学習の時間において、自主学習の計画表を用いた進路学習のあり方を究明する。

### 5 研究仮説

総合的な学習の時間において、自己の学習の進捗と実力テスト等の結果を振り返り、話し合い活動を通して苦手な教科の学習方法についての情報を集めることによって、自己の進路目標の達成に向けて日々の学習の改善方法を考える力を育成することができるであろう。

### 6 研究の計画（授業の計画）

#### (1) 単元 「進路実現をめざした自主学習の計画」

#### (2) 単元（題材等）の目標及び指導計画

単元	「進路実現をめざした 自主学習の計画」	総時数	7時間	時期	10月
単元の目標	○得意な教科と苦手な教科に関する話し合い活動をとおして、新しい学習方法を知ることができるようにする。（知識及び技能） ○話し合い活動をとおして学習の改善方法について考えて学習計画を立て、学習に対する自分の考えをまとめることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等） ○級友からのアドバイスを積極的に生かし、自己の計画にそって学習を進めようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）				

次	時	学習課題	学習活動・内容	指導上の留意点
1	1	<p>【課題の設定】</p> <p>○10月の自主学習について課題意識を持たせる。(見通し)</p>	<p>○現状について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの自主学習についてを振り返る。</li> <li>・実力テストの結果から、各教科のできている単元とできていない単元を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みから2学期中旬の自主学習について、不足している点を明らかにするために、自主学習の内容や量について具体的に振り返らせる。</li> <li>・10月の自主学習において重点をおく教科を決めるために、9月実力テストの結果を確認させる。</li> </ul>
1	2		<p>○自己の進路目標を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標としている進路先の選考基準を再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識を持って自主学習に取り組ませるために、目指す高校の選考基準や試験科目、試験の内容、点数配分などを詳しく調べさせる。</li> </ul>
2	1	<p>【情報の収集】</p> <p>○いろいろな学習方法を知る。</p>	<p>○グループで学習方法について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な教科グループで、学習法の共通点について話し合う。</li> <li>・得意な教科グループで、効果のあった学習法について話し合う。</li> <li>・苦手—得意教科のペアでそれぞれが苦手な教科の学習法について助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な教科の克服に向けて、苦手な単元や理由を明らかにするために話し合わせさせる。</li> <li>・苦手な人に助言できるように、今まで取り組んだ経験から効果のあった勉強方法についての考えを出させる。</li> <li>・自身が苦手な教科を克服するために、学習法について得意な生徒から助言させる。</li> </ul>

	2	<p><b>【情報の整理・分析】</b></p> <p>○自分に合った学習法を考える。</p>	<p>○グループで苦手な教科の学習法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の助言をもとに苦手教科のグループでつまづきのある教科（単元）について改善策を話し合う。</li> <li>・自分に合った学習法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の助言を生かし、自己の改善策を見つけるために苦手な教科グループで話し合わせる。</li> <li>・前時の助言や苦手な教科グループでの話し合いを通して得た改善方法から、自分に合った学習法を選ばせる。</li> </ul>
3	1 本 時	<p><b>【取組】</b></p> <p>○学習計画を立てる。</p>	<p>○10月の自主学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に考えた新しい学習法を取り入れ、苦手な教科に重点をおいて10月の学習計画を立てる。</li> <li>・苦手な教科グループで各自の学習計画について発表し、相互に助言を行い、修正する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を実行できるように、日々の学習において教科や単元のバランスを考えさせながら計画を立てさせる。</li> <li>・以下の視点について各自の学習計画についてグループで点検させる。</li> </ul> <p><b>【点検の視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①1か月を通して5教科のバランスがよい</li> <li>②重点をおく教科や単元を取り入れている</li> <li>③十分な学習時間を確保している</li> </ul>
4	1	<p><b>【まとめ・表現】</b></p> <p>○気づきや自分の考えをまとめる。</p>	<p>○学習計画を立てるまでの過程の中での気づきと10月の学習に対する意気込みをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画を立てるときに工夫したことや注意した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回計画を立てるときに工夫する点や注意する点</li> </ul>

			<p>ことを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月の自主学習を行うにあたっての自分の目標を書く。</li> </ul>	<p>を見返すためにまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画に沿って学習できるように、自らの進路目標においての選考基準と学習の現状を再度確認させる。</li> </ul>
5	1	<p><b>【事後の活動】</b></p> <p>○自己の自主学習計画に沿って学習を進める。</p>	<p>○学習計画に沿って学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習計画表の【計画】と【実行】を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習計画について1週間ごとに振り返りを行うために、どのような内容の学習をどのくらいの時間行ったのか細かく記録させる。</li> </ul>
6	1	<p><b>【振り返り】</b></p> <p>○学習計画について振り返る。</p>	<p>○10月の自主学習計画について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月末に1か月の学習についてできたことと、できなかったことについてまとめる。</li> <li>・ 11月の実力テストの結果を確認し、苦手な教科において学習の効果があつたことと、学習の改善が必要なことについてまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の計画で生かす点（継続すること）と改善が必要な点についてまとめさせる。</li> </ul>

7 指導の実際

教師の働きかけ	生徒の反応
---------	-------

<p>1. 事前の活動を振り返らせる。</p> <p>2. 苦手な教科のグループで前回助言を受けたことを共有させる。</p> <p>3. 苦手な教科のグループで克服するための学習法を考えさせる。</p> <p>4. 苦手な教科について、自分が自主学習で取り組めそうなことを考えさせる。</p> <p>5. 自分が苦手な教科について、10月の自主学習計画表で取り組むことについてまとめさせる。</p>	<p>【前回の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦手な教科のグループで、学習のつまずきに関する共通点を話し合う。</li> <li>・ 得意な教科のグループで、効果のあった学習方法を話し合う。</li> <li>・ 苦手な教科について、得意な生徒から助言を受ける。</li> </ul> <p>【得意な生徒からの助言でわかったことの記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実力テストでは漢字の読み書きの問題が出題されるため、漢字スキルに出てくる漢字を正しく書けることと解説にある熟語の意味を知っておく必要がある。</li> <li>・ 数学では、授業で扱っている単元の計算はできるが、1学期の学習内容などを忘れていて以前できていた問題ができないことがあるので、既習内容の復習を常にしておく必要がある。</li> <li>・ 英語の長文読解では、単語の意味を知らなければ内容がわからないため、語彙力の向上が必要である。</li> </ul> <p>・ 「日々の課題を自分の力で解き、授業中の解説の前にわからない語句や単語は自分で調べるようにする」「毎回の授業で覚えなければならない漢字や英単語がたくさん出てくるため、英マラなどでは家でテストをしながら書くようにする」など、基礎学力の定着を目指した学習法をグループで考えることができた。</p> <p>・ グループでの話し合いを通して出た意見から、自分が実際に取り組めそうなことを選んだり、分量などの調整を行っていた。</p> <p>・ 「週末課題を自分の力で解き、わからなかった問題を空欄にせずに教科書などで解き方を確認する。」</p> <p>・ 「毎日勉強する。」</p> <p>・ 「1、2年生の範囲を復習する。」</p> <p>・ 「実力テストの問題を大問ごとに解きなおす。」</p>
---	--

## 8 研究のまとめ

授業や家庭学習を行うときに工夫することや苦手な教科の学習法については1年時より

総合的な学習の時間において話し合い活動を通して考えさせてきた。しかし、本単元の事前に行ったキャリア教育アンケートの結果から、生徒が改めて設計遂行能力や意思決定能力が低いと実感している様子が窺えた。また、教育相談から自らの進路実現に向けて学習の改善が必要であることは認識しているが、なかなか行動に移せていない生徒が多いということ把握できた。一方で、キャリア教育アンケートで、人間関係形成能力や情報活用能力が高い生徒が多いことがわかったため、本単元では話し合い活動や様々な情報の中から自分に合ったものを選択する活動を位置づけた。このことにより、自ら取り組むことが難しい苦手な学習の改善について、より真剣に考えたり挑戦したりする生徒の姿が見られるようになった。

本単元では10月の自主学習計画を作成し、実行することが主な学習活動となっているが、事後の取組として、11月の実力テストの振り返りを経て、12月に冬休みの学習計画の作成と実行に取り組ませた。そこでは、学習に自主的に向かおうとする生徒が増え、取り組み方が改善したように感じられた。しかし、なかなか点数としての結果につながらず、学習意欲が低下する生徒も少なくなかった。そこで、今後も学習改善についての話し合い活動を継続し、生徒同士のつながりを生かして、その後につながる問題解決の力を身につけさせていきたい。

## 9 成果と今後の課題

- 単元の導入で、生徒に学習についての現状を振り返らせることで、一人ひとりが課題意識を持ち、その後の活動に意欲的に取り組むことができた。
- 苦手な教科のグループで学習法について話し合うことで、1つの教科において複数の学び方があることを知り、自分に合った学習方法を選ぶことができた。
- 1か月の自主学習計画を立てるときに、期間が長い見通しを持ってずにバランスのとれた計画を立てられない生徒がいたため、学習方法だけでなく計画の立て方や意欲の保ち方を考えさせる時間を設ける必要があった。
- 自主学習計画における日々の学習内容の振り返りについて、文章での表現だけでは何のくらい行ったのか把握しづらく学習意欲の保持が難しいため、ICTを活用して可視化したりグループや学級全体での取組と連携させたりするなど相互に高め合えるような工夫をするべきであった。
- 学習計画の実行において、自らの課題解決のためにグループ等で話し合ったり教え合ったりする姿は見られたが、さらに他の方法はないかなど自身で探求する機会が少なかつたため、活動の振り返りで課題に対する改善方法を考えさせて調べさせる時間を取り入れる必要があった。

## ◎ 参考文献

- ・「中学校学習指導要領 解説 総合的な学習の時間編」(文部科学省)
- ・「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査第二次報告書」  
(国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター)
- ・「学びをつくり出すキャリア教育の進め方」(福岡県教育センター)

- ・「〔岐阜県〕中学校長会研究推進委員会第5分科会『未来を切り拓くためのキャリア教育の視点に立った進路指導の充実』の研究成果」（岐阜県小中学校長会）
- ・「福岡県立高校入試問題を活用した授業改善・学習資料～未来への架け橋～」  
（福岡県教育センター）